

# むかいじま としょかんだより



だいごう 第112号 2023.10 はっこう 発行

あたら ほん  
新しく入った本

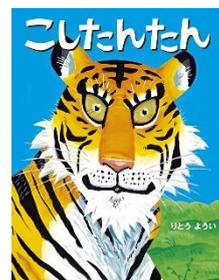
★『石油のものがたり』<sup>せきゆ</sup>大河内 <sup>おおこうち</sup>直彦／<sup>ぶん</sup>文、<sup>やまふく</sup>山福 <sup>あけみ</sup>朱実／<sup>え</sup>絵  
ふくいんかんしよてん  
福音館書店 **56**

<sup>いま</sup> 今や <sup>わたし</sup> 私 <sup>たち</sup> たちの <sup>く</sup>暮らしに <sup>か</sup>欠かせない石油は、エネルギーとして  
<sup>みぢか</sup>だけでなく、<sup>もの</sup>身近にある <sup>げんりよう</sup>いろいろな物の <sup>そんざい</sup>原料として存在し  
ます。石油はどのようにしてできたのか、<sup>にほん</sup>どうして日本ではあ  
<sup>れきし</sup>まりとれないのかなど、<sup>なぞ</sup>歴史とともにその <sup>せま</sup>謎に迫ります。



★『こしたんたん』<sup>さく</sup>りとう <sup>えほんかん</sup>ようい／<sup>えほんかん</sup>作 <sup>えほんかん</sup>絵本館 **E**

「<sup>こしたんたん</sup>虎視眈々（<sup>えもの</sup>とらが <sup>するど</sup>獲物を <sup>め</sup>ねらって、<sup>みお</sup>鋭い目で <sup>じつ</sup>じっと <sup>み</sup>見下  
<sup>ようす</sup>ろす様子から、<sup>つよ</sup>強い者が <sup>もの</sup>機会を <sup>きかい</sup>ねらって <sup>けいせい</sup>形勢を <sup>うかが</sup>うかがっている  
さま）」の意味がよくわかります。<sup>い</sup>驚いたとら、<sup>おどろ</sup>怒ったとら、<sup>おこ</sup>  
<sup>よろこ</sup>喜んだとらなど、<sup>かお</sup>いろいろな <sup>たの</sup>顔のとらが <sup>たの</sup>楽しい絵本です。



★『<sup>わざたいぜん</sup>ためして!ウラ技大全 <sup>ふしぎ!なんで?学べる</sup>ライフハック 200』  
<sup>わくわく</sup>生活ラボ／<sup>へん</sup>編 <sup>えほんの</sup>杜 <sup>もり</sup> **04**

「<sup>あし</sup>足を<sup>はや</sup>速くするウラ技」や「<sup>かみ</sup>髪<sup>け</sup>の毛をはやく<sup>かわ</sup>乾かすウラ技」  
など、生活の<sup>ばめん</sup>いろいろな<sup>やくだ</sup>場面で役立つ200の「ウラ技」を収録。  
ただ<sup>べんり</sup>便利<sup>べんり</sup>なだけではなく「<sup>なんで</sup>なんでそうなるの?」のギモンま  
で<sup>かいせつ</sup>解説<sup>よ</sup>してくれているので、<sup>よ</sup>読めば<sup>おし</sup>きっと<sup>おし</sup>みんなに<sup>おし</sup>教えて<sup>おし</sup>たく  
なること<sup>まちが</sup>間違いなし!



★『<sup>い</sup>イチから<sup>つく</sup>つくる<sup>ラーメン</sup>ラーメン』<sup>おくむら</sup>奥村 <sup>あやお</sup>彪生／<sup>たかべ</sup>編、<sup>せいいち</sup>高部 <sup>え</sup>晴市／<sup>え</sup>絵  
<sup>のうさんぎよそんぶん</sup>農山漁村文化協会 **61**

<sup>ふたご</sup>双子<sup>よこはま</sup>のレイとケンが<sup>ちゅうかがい</sup>横浜<sup>ちゅうかがい</sup>の中華街で「<sup>しょうゆ</sup>しょうゆ<sup>ラーメン</sup>ラーメンは  
ありますか?」とたずねると、<sup>みせ</sup>お店<sup>ひと</sup>の人に「<sup>にほん</sup>日本の<sup>ラーメン</sup>ラーメンは  
やってないの」と<sup>い</sup>言われて<sup>びっくり</sup>びっくり! <sup>ちゅうごく</sup>ラーメンは<sup>ちゅうごく</sup>中国料理  
だと思<sup>おも</sup>っていた<sup>ふたり</sup>二人は、<sup>ちゅうごく</sup>中国の<sup>めん</sup>めん料理と<sup>にほん</sup>日本の<sup>ラーメン</sup>ラーメンの  
<sup>ちが</sup>違い<sup>れきし</sup>や<sup>しら</sup>歴史を<sup>さぐ</sup>調べることに。そして、<sup>ざいりょう</sup>めん<sup>こむぎ</sup>の材料<sup>そだ</sup>の小麦<sup>そだ</sup>を育  
てるところ<sup>ほんかくてき</sup>から<sup>ほんかくてき</sup>つくる<sup>本格</sup>本格的な<sup>ラーメン</sup>ラーメン<sup>づくり</sup>づくりにも<sup>チャレン</sup>チャレン  
ジ! <sup>さつ</sup>ラーメン<sup>さつ</sup>の<sup>さつ</sup>ひみつ<sup>さつ</sup>がわかる<sup>さつ</sup>楽しい1冊<sup>さつ</sup>です。



★『<sup>うおずみ</sup>だいじょうぶくん』<sup>なおこ</sup>魚住 <sup>さく</sup>直子／<sup>あさくら</sup>作、<sup>せかいいち</sup>朝倉 <sup>せかいいち</sup>世界一／<sup>え</sup>絵  
<sup>しや</sup>ポプラ社 **913** <sup>ウ</sup>

<sup>あた</sup>新しい<sup>こ</sup>クラスの子に<sup>はな</sup>話しかけられずに<sup>なや</sup>悩んでいる「<sup>そう</sup>そう  
た」くんは、ある<sup>ひ</sup>日、<sup>あ</sup>リサイクル<sup>あ</sup>ショップで<sup>あ</sup>出会った<sup>あ</sup>しゃべる  
<sup>ぬいぐるみ</sup>ぬいぐるみの「<sup>だいじょうぶ</sup>だいじょうぶくん」に、<sup>もちぬし</sup>持ち主<sup>の</sup>の「<sup>まりちゃん</sup>まりちゃん」  
を<sup>さが</sup>探して<sup>たの</sup>ほしいと<sup>たの</sup>頼<sup>ふしぎ</sup>まれました。「<sup>そうた</sup>そうた」くんは<sup>ほうほう</sup>不思議な<sup>ほうほう</sup>方法  
で<sup>み</sup>いろいろな<sup>み</sup>ものと<sup>み</sup>話せる<sup>み</sup>ようになりますが、<sup>み</sup>やっと<sup>み</sup>見つけた  
「<sup>まりちゃん</sup>まりちゃん」の家<sup>いえ</sup>には<sup>あや</sup>怪しい<sup>おとこ</sup>男<sup>おとこ</sup>が…!? <sup>に</sup>本<sup>に</sup>が<sup>に</sup>苦手<sup>に</sup>な子にも<sup>お</sup>お  
すすめ<sup>ほうけんもの</sup>のスリリングな<sup>ほうけんもの</sup>冒険<sup>ほうけんもの</sup>物語<sup>ほうけんもの</sup>です。



★『ニャンの日にまいります!』木内 南緒／作、酒井 以／絵

いわさきしょてん  
岩崎書店

913 キ

「渡部」から「相原」に名字が変わった晴也は、クラスでいじめを受けるようになってしまいます。ある日学校の帰り道に晴也は、川でおぼれているカギしっぽのサビねこを見つめます。ねこを助けて家に連れて帰った晴也は、ねこに「カギ助」と名前をつけて家で飼うことにしましたが、カギ助にはふしぎな夢を見せてくれる力があるようで……？



★『どんないえにすみたい?』ジョージ・メンドーサ／文、

ドリス・スーザン・スミス／絵、木坂 涼／訳 好学社

Eト

有名な建築家であるねずみのヘンリエッタは、お客さんのおねがいにぴったりの、いえ、それよりも一つと良い家をつくってくれます。ページをめくれば、りすのツリーハウスやもぐらの地上の家、くまのほらあな、ぶたの宮殿などなど、いろいろな動物たちのおねがいにあわせたすてきな家がたくさん出てきて、この家にもあの家にもすみたい!とまよってしまうかも。みなさんなら、ヘンリエッタにどんな家をつくってもらいますか?



★『ねこのおふろや』くさか みなこ／文、北村 裕花／絵

アリス館 Eネ

ひとがねしずまった後、ねこのためのおふろやさんがひっそりと開店しているのを知っていますか。ここではノラねこも飼いねこも、いろんなねこがおふろにつかっているんびりゆったり日々のつかれをいやしていきます。きもちよくなるとねこ同士のおしゃべりもついついはずみずみ。ひとには普段見せてくれない「ふにゃ〜」とリラックスしているねこがたくさんユーモアあふれる絵本です。



# きょうとしとしょかん ほん か 京都市図書館で本を借りよう！

図書館の本は、だれでも読むことができます。図書館カードを作れば、10点まで（CD・DVDは2点まで）、2週間借りることができます。図書館カードは、京都市と宇治市、大津市に住んでいる人や京都市の幼稚園・保育園・学校に通っている人なら、無料で作ることができます。中学生以上の人はカードを作るときに、お名前とご住所を確認できるもの（生徒手帳など）が必要です。ほかの人が借りている本や、ほかの図書館にある本を読みたいときは、予約ができます。読みたい本が見つからないときや、調べものに使う本をさがすときなど、本や図書館のことはなんでも図書館の人に聞いてください。

## むかいじま 京都市向島図書館

ふしみく にのまるちょう  
伏見区向島二ノ丸町 151-35 ☎075-622-7001

あいている時間：○ 午前9時30分から午後5時まで  
○ 木曜日（祝日以外）…

午前11時30分から午後7時まで

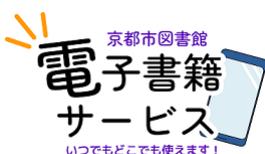
午後5時から午後7時までは、こどもだけで図書館を利用することはできません。

かならず大人の人といっしょにきてください。

おやすみの日：○ 毎週火曜日（火曜日が祝日のときは、その次の平日）  
○ 年末年始



京都市向島図書館ホームページ (QRコード→)  
<https://www2.kyotocitylib.jp/向島図書館>



京都市図書館公式X (Twitter) (QRコード→)  
<https://twitter.com/kyotocitylib/>

